

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

| 学校名        | 埼玉県立春日部東高等学校                                       | Aグループ   |
|------------|--|---|
| 項目         | 調査の観点  | 取組状況に関する所見  |
| 目指す学校像     | 目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。                    | 校訓である「文武両道」を踏まえた学校像であり、学校として目指す方向が明確に示されている。学校を取り巻く環境の変化などをより広く把握・分析し、次のステージに向けて目指す学校像を更に具体的かつ魅力あるものにしていただきたい。                          |
| 重点目標       | 学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。 | 目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。学校の置かれた状況などを把握した上で、学校の取り組むべき課題を明確にし、中期的視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。                           |
| 重点目標達成への取組 | 重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。                   | 学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校自己評価システムを適切に運用するため、分掌・学年間の連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備していただきたい。 |
|            | 方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。                           | 家庭学習の充実を図るために「生活と学習の記録」を活用するなど、様々な方策が実施され、具体的な成果も上がっている。評価指標が教職員で達成イメージを共有できるものとして工夫されているものが多く、方策の達成状況を評価するためのものとして適切である。               |
|            | 校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。        | 校長が学校の課題を踏まえた明確な学校経営方針を持ち、取り組んでいる。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題の解決の方向を教職員に示している。その達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。                                |
|            | 学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。        | 生徒対象の授業評価・授業規律評価アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を有効活用し、達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。          |
| 特記事項       |  |   |